

学校教育目標

『学・恕・夢 ～学びあい 思いあい 夢を育てる蓮南中～』



# はなみずき

令和3年度  
学校だより 第1号  
1年生 125名  
2年生 130名  
3年生 93名

「家庭・地域・学校の連携」を大切にしている蓮田市立蓮田南中学校 令和3年4月8日  
本校ホームページ <http://hasunanchu.world.coocan.jp/> ☎048-769-2021

## 「Ya Ya Ya 新入生がやってくる！」

校長 設楽 博文

梅と桜で華やいだ後は、蓮田市木のハナミズキが芽を出しそうな季節となりました。そんな穏やかで平和な日本の春をよそに、新型コロナウイルスは、グローバル化の波に乗り、世界中に甚大な被害を及ぼして、まだ終息の目途が立たない状況です。この事態の前に、入学時期を欧米と同じく、9月にしようという動きがありました。大学の留学等を考えるとこれも然りでしょうが、日本では、梅の卒業式と桜の入学式が似合います。これは、グローバル（地球上の）とは別の日本の大切な文化でもあります。

疫病の感染発生から一年以上が経ち、学校では少しずつ通常の活動ができるようになりました。先月の卒業式は、学年全体が集まり、保護者と全職員で挙行できました。卒業生は、我慢を重ね、努力を続けて、全員が進路を決め、未来へ向けて力強く駆け抜けて行きました。また、今年の冬は、全校生徒・職員でインフルエンザが0でした。勉強以外でも、全集中で家庭と学校が取り組んだ成果です。気苦労は大変でしたが。

次の入学式に向けて、2月には、新入生説明会を開催しました。その時は、保護者だけでしたので、本校の卒業式後、私が南小へお邪魔して、6年生に話をすることにしました。本校とは別物の体育館に入ると、6年生は整然と待っていてくれました。小学校の式練習に支障がないように、短くしようと、かなり準備して行ったのですが児童の聞く態度がすばらしく、反応もよく、つい長くなってしまいました。その後、小学校の卒業式の翌日、本校職員が小中連絡会で南小へ伺いました。その帰りに、6年生全員で書いてくれたという手紙を頂きました。あの忙しい時によくこんなことが、と感激して一気に見ました。そこには、「不安だったけど、少し安心した。中学校から出た宿題を完璧にやりたい。部活が楽しそうだからがんばる。」という感想が多くあり、私は元気が出てきました。中に、「煉獄さんが好きらしい。似ている。」というのがあり、「よし、みんなのためにも強くなる。まず、健康でいなくては。」と思いました。そして、「もっと体力をつける。毎日7時間は寝る。」という目標ができました。

さてこの度、新入生 125 名を迎え、入学式が挙行できることに改めて感謝します。今年度も昨年に続いて4クラスとなり、「4-4-3-特支2」の計13クラスです。このクラス数は、11年ぶりでもとても有難いことです。生徒が増えて活気が増し、職員も増えてより指導が行き届きます。生徒数は、2年生130名、3年生93名、計348名。

本校では昨年度、学校教育目標を「学恕夢」としました。今までも、校訓として皆から親しまれていたものです。「恕（ジョ）」は、優しさや思いやり、人を許す心です。世界では今、「寛容と多様性」が求められています。それが正に「恕」です。つまり、どんな時も思いやりの心をもって、助け合い、勉強も運動も文武両道で伸びていく。そして、夢や目標を叶えるための努力をそれぞれが続ける。もちろん、教職員も学び続けます。皆さん、そんな中学校生活にしてください。続ければ本物になります。皆さんが集うのを楽しみにしています。さあ南中に、また素敵な春がやってくる！